

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和5年度 第1回スポーツ推進審議会
開 催 日 時	令和5年12月22日（金）19時30分～21時00分
開 催 場 所	米原市役所本庁舎3階 会議室3A
出 席 者	○審議会委員 的場收治、堀江広明、高木清文、林典子、北沢まゆみ、西川清彦、馬場里恵、 大林ひとみ、高木百合子、岩山幸太郎 （欠席者）山堀貴彦、横田仁司、宮野博幸、谷口絹代、遠山汎 ○米原市 教育長、教育部長、スポーツ推進課（高木次長、横田参事、渡辺主事、戸田主事）
協議事項	1 開会あいさつ（教育長） 2 自己紹介 3 会長および副会長の選任について ＊事務局より提案し、了承。 <u>会長：的場收治氏、副会長：山堀貴彦氏</u> 4 議事 （1）米原市スポーツ推進計画の策定の経緯について ・次期アンケート調査の実施時期について （2）米原市スポーツ推進計画の概要について （3）実施計画の進捗状況と評価について ・指標等の推移について （4）情報提供 ・部活動の地域移行について（国の動きと米原市の事例） ・わた SHIGA 輝く国スポ障スポの開催に向けた取組について ・（仮）米原市スポーツ推進連絡協議会の在り方について （5）意見交換 （6）その他 ・委員報酬の支払いについて ・令和6年度ジョイスポパークの開催日について ・スポーツ推進委員の特集（伊吹山テレビ）について ・次回会議の開催時期について 5 閉会あいさつ（会長）
結論（決定した方針等）	・現在のスポーツ推進計画の経緯や内容、進捗状況、評価等を共有した。 ・米原市のスポーツが抱える現状と課題等について、意見交換を行った。 ・推進計画に基づく実施計画については、2年間かけて意見交換を行いながら、第11期の計画として次年度に策定していく。
協議経過 （主な質問、意見）	○開会あいさつ（教育長）＊進行：高木次長 年末のお忙しい中、令和5年度第1回米原市スポーツ推進審議会に御出席いただき、感謝する。また、それぞれの立場で、スポーツ推進に御尽力いただいております、厚くお礼申し上げます。今年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、様々な分野でコロナ禍前の日常へと戻ってきている。スポーツの分野においても、それぞれの団体や自治会で、スポーツイベントなどが開催されるようになってきた。米原市でも、10月15日に開催した、国スポ障スポの機運醸成イベント「ジ

「ヨイスポパーク」では、多くの方々に参加をいただいた。スポーツは、老若男女、人と人のつながりと地域と地域の交流を深める非常に意義のあるものであり、スポーツをみる、する、支える中で、感動したり、ともに喜んだりできもの。米原市では、スポーツでつながるまち、スポーツコミュニティを創出することを目標に掲げているが、その実現に至るまでには、まだまだ課題があると感じている。計画の概要や進捗状況など、コロナ禍の影響を踏まえながら、まずは、現時点でのスポーツの現状について共有させていただき、皆様の意見をいただきながら、今後の「スポーツコミュニティ米原」の実現に向けて、取り組んでいきたい。米原市のスポーツの未来のために、引き続き協力をお願いしたい。

*委員の委嘱については、委嘱状の配布をもって代えさせていただく。

○自己紹介 *参加者全員

別紙委員名簿の順番により、自己紹介。事務局も紹介。

*審議会規則第3条第2項により、半数以上出席（8人/15人）により会議が成立。

○会長および副会長の選任について

選考方法をお諮りしたのち、事務局案を提示し、承認いただいた。

会長：的場收治氏、副会長：山堀貴彦氏

(就任あいさつ：的場会長)

・15人のうち8人ということで、初回の会議では残念であるが、コロナ禍の中で、スポーツを取り巻く環境も難しく、審議会の会議も開けていなかったということであった。いよいよコロナも5類に移り、日常を取り戻しつつある。そうした中、米原市のスポーツの未来を築いていくという審議会は大切なものであるし、3年後には推進計画を策定する必要がある。重要な会議であるので、皆さんの協力により、しっかりやっていきたい。よろしく願います。

*教育長については、所用により退席。

○議事（進行：的場会長）

(1) 米原市スポーツ推進計画の策定の経緯について

(説明のポイント)

- ・平成25年に1期目の計画を策定し、10年間の計画となっている。
- ・平成30年に中間見直しをし、それ以降、会議が開催できていおらず、現在に至っている。
- ・本来なら、令和6年度からスタートすることになるが、コロナ等の影響もあり、国民スポーツ大会の結果を反映させるために3年延長している。令和8年に全面改訂して、9年度からスタートすることとなる。
- ・次期のアンケート調査の実施時期については、国スポ終了後の意見を反映させるということで、令和7年10月～令和8年5月にかけて、アンケートを実施したいと考えている。(令和7年は8年に訂正)

(2) 米原市スポーツ推進計画の概要について

別紙資料 A3 サイズと概要版に基づき、事務局から説明。

- ・大項目は5つあり、それぞれ指標を掲げている。
詳しい内容については、スポーツ推進計画（本体）を確認いただきたい。

(3) 実施計画の進捗状況と評価について

- ・指標等の推移については、資料のとおり。6 p～8 p
子どものスポーツ活動のところでは、令和5年に一部達成となっている。
計画が3年延長となったことにより、一部アンケートが未実施のため測定できていないところがある。
- ・総合型地域スポーツクラブ会員数は、コロナ等の影響で未達成。
- ・スポーツボランティアは、イベント等が中止になり、減少した。
- ・オリンピック等の強化選手は、未達成であるが、増加傾向にある。
- ・実施計画については、3年間で点検を行い、見直しを行っており、第4期が最新のものとなっている。
- ・実施計画については、本来は第10期をつくることとなるが、意見をいただきながら、2年間かけて第11期計画として実施計画を策定したい。
- ・評価に当たっては、調書（10 p）を各課に依頼し、コロナ禍前、コロナ禍後として取りまとめた。

（評価シートの概要*主なポイント）

- ・評価シートは、別紙のとおり。令和4年度の実績に基づき各担当が評価している。
- ・（仮称）米原市スポーツ推進連絡協議会については、令和元年度と2年度に検討を行ったが、コロナ等の影響もあり、十分な協議ができていない。今後、推進計画の策定に向けて検討していく必要がある。
- ・地域部活動については、全国で少子化が深刻化しており、子どものスポーツの機会を守るため、地域の子どもは、学校を含めた地域で育てるということで、全国的な動きとなっている。
- ・米原市では、現在、公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団に委託し、4つの部活動について実証事業を行っているところ。
- ・トップアスリート事業については、ジョイスポパークでロッチ中岡氏ほか、ブルースティックス滋賀との交流ができています。
- ・女性のスポーツ機会の拡充では、スポーツ推進委員では女性の割合が多いが、一方で、スポ少の女性指導者は少ないという課題がある。
- ・評価シートNo.3の大項目スポーツ稼働⇒スポーツ活動の訂正。
- ・スポーツ推進委員の実技研修は、コロナ禍以降、月1回開催されている。
- ・スポーツボランティアは、まだまだ登録が進んでいない。
- ・No.4のスポーツ推進検討委員会は、内部連携を図る会議であるが、十分な連携が深められていない。
- ・国スポ障スポの開催に向けては、県立伊吹運動場の駐車場の整備が進んでいない状況にある。
- ・ホストタウンの関係では、スポーツ国際交流員を任用し、国際交流に大きく貢献いただいている。
- ・夢高原かつとび伊吹は、令和4年度にファイナル大会を迎えたが、地域資源を活用して、米原市の伊吹山を発信する、非常に意義のある素晴らしい大会であった。
- ・トップアスリートの育成のところでは、表彰式、激励金で支援している。
- ・評価は、所管課での評価であり、修正があれば加えていきたい。評価に対して、こうした事業をしたらいいのではないかという意見をいただきながら、11期の計画をつくりあげていきたい。

質疑応答

(的場会長)

・審議会の委員を経験されてきた方もいると思うが、初めての方は、今日は、発言が大変かと思う。次回に意見を求めたいと思うがどうか。

(西川氏)

・滋賀県でも指標を掲げてやっている。実績の回数などが書いているが、何をもちょう達成なのかわからない。何をやっていけば達成したことになるのか。そういった指標がある。アウトカムがどうなのか、やった結果、どうなったのかというところ。その視点を、可能な限り見ていけばいいと思う。評価の基準が必要。

⇒ 小項目ごとに評価指標を定めているが、所管課での肌感覚での評価しかできていない。指標ごとに、目標がつくれるか難しいところがあるが、御指摘の視点をできる限り加えながら、実施計画を作りこんでいきたい。

(的場会長)

大変重要な意見。やった結果、どのようなことが求められるのか、求めていくのが大切である。次回からの会議で意見交換をして、実施計画に反映してほしい。

(高木氏)

・文言の確認、スポーツ振興会に名称変更しているが、体育振興員はスポーツ振興員に訂正すべきか。

⇒ 体育振興会はスポーツ振興会、体育振興員はスポーツ振興員に訂正をお願いしたい。

・障スポと書いていたり、全スポという表現がある。再来年は、国スポ障スポとあるので、全スポはどうか。誤解しやすい。

⇒ 前回の資料では全スポとなっているが、障スポに訂正をお願いしたい。

(4) 情報提供

・部活動の地域移行と(仮)米原市スポーツ推進連絡協議会の在り方については、評価のところの説明したので、省略。

・わた SHIGA 輝く国スポ障スポの開催に向けた取組について(14p～)

米原市の正式開催競技は、ホッケー。デモンストレーションは、フットサルとユニホックが開催される予定。障スポの開催種目はない。

・開催に向けては、実行委員会と庁内実施本部の両輪で検討を進めている。

・令和4年度と5年度の取組状況は別紙のとおり。

(5) 意見交換

(的場会長)

・次回の会議で意見を聞くこととなると思うが、次回の会議はどのような形で進めるか。

⇒ 今後、実施計画を作りこむこととなるので、評価を加えた、実施計画の素案をお示ししたうえで、いろんな意見をいただきながら、修正を加えていきたい。

今回の評価を反映させた形で、素案ではあるが、事務局で作成したい。それぞれの立場で感じられたことを発言いただきたい。

(的場会長)

・会議でいきなり見せられても発言できないし、時間も限られた時間であるので、しっかりと短い時間で中身の濃い会議をやりたい。素案ができた時点で、委員の皆さんに会議次第を含めて送ってもらえないか。

⇒ その方向で調整したい。次回実施計画案を提示させていただきたい。

(事務局)

・県の計画のポイント、3期目のポイント、市の計画を作るうえで、参考にする必要もあるのでお話しいただけるとありがたい。

(西川氏)

・滋賀県の場合は、第3期の計画を昨年策定して、今年度から1年目となっている。滋賀県では、基本的な姿をどうするのか、目指す姿、基本的な土台をしっかりと押さえてから、骨組みを考えた。第2期が平成30年から5年間、そこで達成できたこと、できなかったこと、オリパラを迎えて、何が県民の皆さんに効果があったか分析しながら、第3期に向けてどういったことをやっていくかを改めて整理し直した。県全体の基本構想との位置づけをみながら、知事の思い、いろんな団体の意見をいただきながら策定した。全体のイメージは似ているが、人、地域、避けて通れないのは国スポ障スポを見据えて計画を作った。個別具体は次の日程次第となるが必要があれば説明させていただく。

・滋賀県では、国スポ障スポのデザイン募集を1月8日までにアンケートを実施している。積極的な投票をお願いしたい。

⇒ 米原市のSNSでも掲載する予定。ぜひ投票を。

(6) その他

・委員報酬の支払いについては、本日4名の方に、用紙をお配りした。それ以外の方については、既に登録されている口座にお支払いしたい。

・令和6年度ジョイスポパークの開催日について

令和6年10月19日(土曜日)で検討している。今までは日曜日開催であったが、山東のバレーボール大会もあったことから、土曜日で検討を進めている。

⇒ 特に意見なし。

・スポーツ推進委員の特集(伊吹山テレビ)については、様々な取組をしていただいている。活動が見えにくいという意見をいただいております、本日から放映しているので、御覧いただきたい。

・次回会議の開催時期については、事務局としては、3月頃に開催したい。日程については、改めて連絡させていただきたい。

5 閉会あいさつ(的場会長)

米原市のスポーツの未来に、この審議会も大きな関わりを持つと思われる。今日の会議は、事務局の説明がメインであったが、次回は、皆さんの意見を聞きながら、しっかりと実施計画を立て、最終的には、推進計画をつくれるよう、皆さまの協力を求めたい。ただ、実施計画を作ることが目的ではない。それをつくることにより、米原市のスポーツがしっかりと市民の皆さんのためになるということであり、米原市の明るい未来を作るために、その一端を担っていきたいと思う。皆さんの協力を得ながら進めていきたい。今後とも、どうぞよろしく。

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等:) <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等:)
全部記録の有無	会議の全部記録 <input checked="" type="checkbox"/> 有 無 録音テープ記録 <input type="checkbox"/> 有 無
担当課	スポーツ推進課 (0749-53-5155)